

みのり児童会の歌

みのり児童会の歌は、1988年（昭和63年）10月3日に創立80周年記念事業として制定された。

児童による作詞、作曲を基本に全校児童に呼びかけたが、応募作品には個人の優秀作がなく、昭和63年度6年生全児童の合作という形で詩の構成（四季）を決め、校長・職員で補作したものである。

作曲は、昭和63年度6年生児童の西丸 ゆかりさんと白鳥 祐子さんが歌った唄を職員が採譜し、埼玉県在住の作曲家 本間 貞史氏に補訂並びに伴奏譜をお願いし、完成させた。

体育館に掲げられている児童会歌の額装の文字は、津端 征夫教頭（昭和61～62年度在職）が、1988年（昭和63年）10月1日に揮毫したものである。

